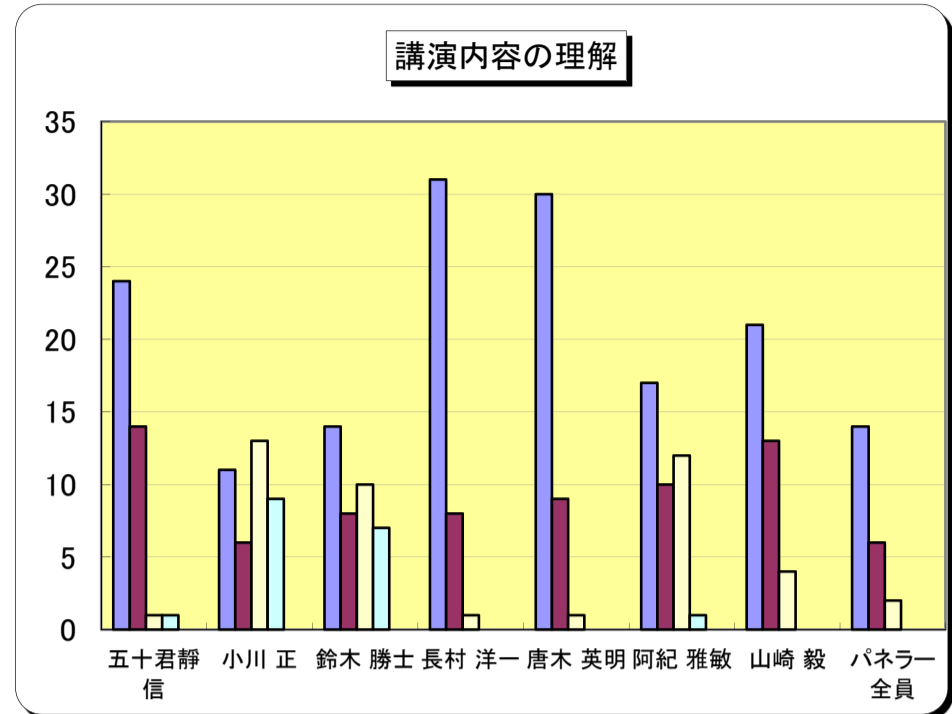
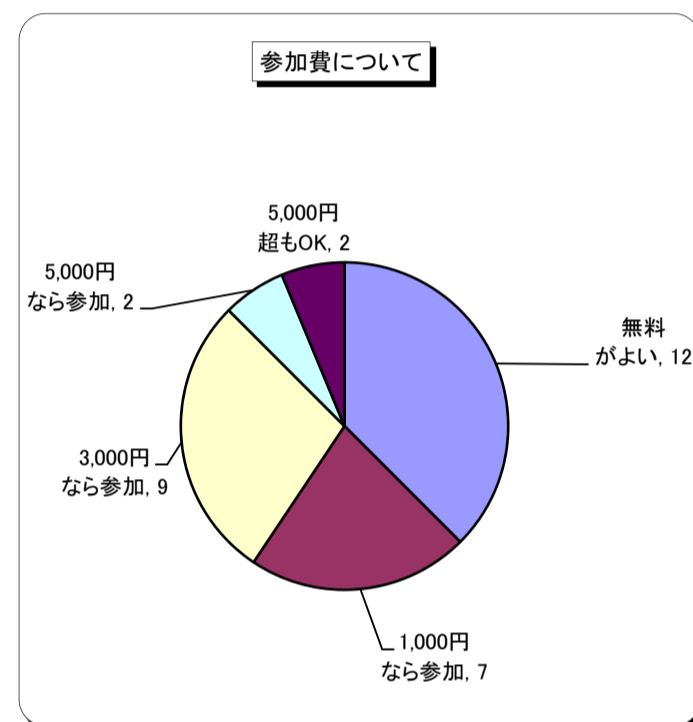


アンケート回収数41枚(参加者:84名、演者7名を除いた回収率:53%)

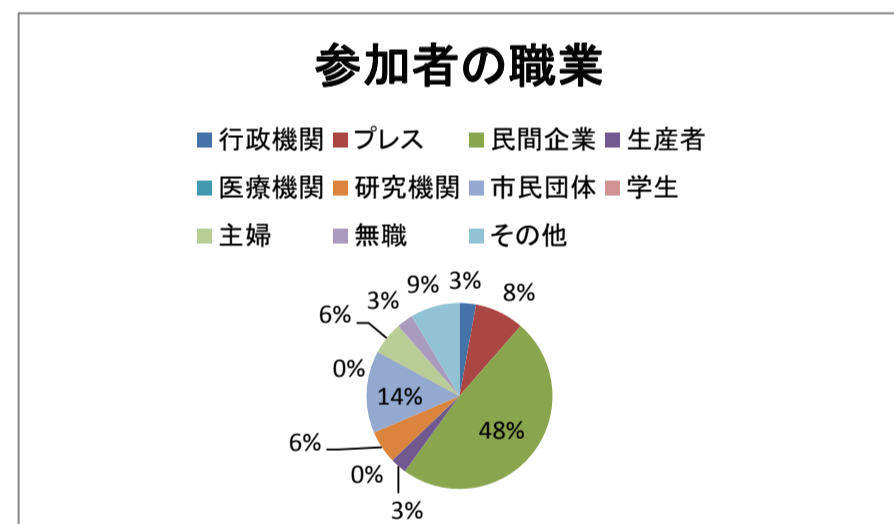
No.	テーマ	講師	よくわかった	わかった	ふつう	少々難しかった	かなり難解
1	食中毒微生物	五十君 静信	24	14	1	1	0
2	食物アレルギー	小川 正	11	6	13	9	0
3	残留農薬	鈴木 勝士	14	8	10	7	0
4	食品添加物	長村 洋一	31	8	1	0	0
5	遺伝子組み換え作物	唐木 英明	30	9	1	0	0
6	加工食品	阿紀 雅敏	17	10	12	1	0
7	健康食品	山崎 毅	21	13	4	0	0
8	パネル・ディスカッション: 『食のリスクの真実を議論する』	パネラー全員	14	6	2	0	0



	無料がよい	1,000円 なら参加	3,000円 なら参加	5,000円 なら参加	5,000円 超もOK
今回のフォーラムの参加費(NPOへの賛助)についてどう思われますか?	12	7	9	2	2
今回のフォーラムについて、率直に思われたことを何でもお教えてください。	(別紙)				
今後、食の安全と安心の分野で、どのようなテーマのシンポジウムを希望されますか?	(別紙)				
消費者と専門家のリスク認知期のギャップをうめるためには、いま何が必要でしょうか。	(別紙)				
当NPOから季刊誌を発行しておりますが、無料購読を希望される方はあて先(郵便番号・住所・氏名・所属機関等)をご記入ください。	(別紙)				
当NPOから隔月でメルマガを発行しておりますが、無料購読を希望される方はメルアドをご記入ください。	(別紙)				



職業	人数
行政機関	1
プレス	3
民間企業	17
生産者	1
医療機関	0
研究機関	2
市民団体	5
学生	0
主婦	2
無職	1
その他	3



各演者のご講演やフォーラム全体に対する参加者のコメント集

1 食中毒微生物	五十君 静信
8 食中毒の感染者のデータに大変興味を持ちました。	
16 リステリア症発症年齢層についてのデータは興味深かった。	
17 生食のための放射線照射の確実性と実施の可能性はどのようなものか。	
19 わかりやすかった。	
20 演題発表の内容、まさにそのとおりのこと。それらの事をどのように消費者に伝えていくのかをシステムとして考えてほしい。	
22 行政における対応のむずかしさがわかりました。	
24 今はまだ日本で浸透していない菌について知れて良かった。	
28 食中毒も年齢による意識の差などおもしろい内容であった。	
35 微生物制御の重要性	
38 もう少し時間が欲しかった。	
40 高齢者の冷蔵庫内にある賞味期限切れの食材は注意していきたいと思う。	
2 食物アレルギー	小川 正
1 伝えたいことをわかりやすく整理していただければよいと思います。細かくなりすぎた感がありました。	
2 アナフィラキシー対策が問題なのかどうか、お話の中心がわかりにくい。	
4 やや専門的でした。	
8 花粉症の方が花粉が引き金になって食物アレルギーの症状を起こすとのこと興味を持ちました。	
12 いつも思うのですが、免疫とアレルギー反応は難しいです。アレルゲンを除去した食品の可能性、将来性に関心を持ちました。	
15 正確なメカニズムは理解が難しい。	
17 アレルギー表示物質の見直し(他にもあるのでは)が必要と思う。最新のデータに対する意見交換会が望ましい。	
19 専門的な説明は理解が難しかった。	
20 演題発表の内容、まさにそのとおりのこと。それらの事をどのように消費者に伝えていくのかをシステムとして考えてほしい。	
24 少し声が聞きとりにくかった。	
30 もう少しきちんと理解したいです。かみくだいた内容で、もう一度知りたいです。	
35 アレルギー反応について難しかったです。	
38 メカニズムのところが難しかった。	
40 交差反応はこれから注意すべきことが分かった。今までは自分の興味だけだったけど、データがあれば喚起していきたい。	
41 花粉症との食品アレルギーについては患者が多い。マスコミへの情報提供が必要だと思った。	

3 残留農薬	鈴木 勝士
1 伝えたいことをわかりやすく整理していただければよいと思います。細かくなりすぎた感がありました。	
4 やや専門的でした。	
8 かなり高い安全係数をかけていることがわかりました。	
16 持ち時間を伝えられてなかったのでしょうか。	
19 内容が難しい。専門家に伝える場ではないのだから、もっとわかりやすい内容にしてほしかった。	
20 演題発表の内容、まさにそのとおりのこと。それらの事をどのように消費者に伝えていくのかをシステムとして考えてほしい。	
24 「農薬とは」の説明を頭にもってきた方がよい。	
30 添加物のとらえ方と似ているなど感じました。	
35 ほとんどリスクがないことがわかりました。	
38 (毒性試験のところは難しい)ペストサイエンス(リスク分析)とポリシー(リスクMG)の科学者の悩みは少し理解でき?	
40 JAの倉庫で働いている時、農家の方が沢山農薬を買っていった。無農薬栽培の友人も別にいる。どちらがよい農作物を作っていくのか価値観が変わった。	
41 母親達が不安になる一つが離乳食を丁寧につくれ、国産野菜を使えなどの育児書や保健指導によるのではないかと。食育を担う母親への集合教育(リフレット配布)も考えては?	
4 食品添加物	長村 洋一
8 添加物と医薬品を例にして有効性と危険性のグラフが大変わかり易かったです。	
12 個人的関心としては健康のための「もどき食品」が面白かった。	
13 ペネフィットとリスクをしっかりとらえた上で判断をし、消費者とのリスクコミュニケーションをとることが大事のように思います。	
16 パネルディスカッションでも説明がわかりやすかった。	
17 とてもわかり易かった。食品添加物の必要性をもっと一般にアピールできる方策を考えて下さい。	
19 わかりやすかった。	
20 演題発表の内容、まさにそのとおりのこと。それらの事をどのように消費者に伝えていくのかをシステムとして考えてほしい。	
22 いつも明確なお話でたいへん良かったです。	
23 消費者の方がよく感じる疑問に対して、納得のできる形で答えて下さって分りやすかった。添加物を使用するメリットも理解できた。	
24 説明のテンポも良くて分りやすかった。又聞きたい。	
27 添加物のリスクと恩恵の話は納得できました。	
28 もどき食品の話が良かったです。	
33 最も消費者の考え方にのっとったお話しぶりだと思います。	
34 積極的もどき食品推進に及ぶ論は明快。	
35 有効性を理解しました。	
38 「もどき食品」のスミ、啓発をお願いします。	
40 添加物反対派でしたが、価値観が変わりました。	
5 遺伝子組み換え作物	唐木 英明
8 理論的でわかり易かったです。	
12 学会発表の論文をそのまま信じるな、検証を経て確立していくという話を聞いていたので納得のいくお話でした。	
16 ご講演もパワーポイントも非常にわかりやすかった。	
17 大変わかり易かった。GMのコーンや大豆は殆ど加工食品に利用されて、そのまま利用されるものは豆腐や納豆など限られていることもアピールして下さい。(表示されている)	
19 わかりやすかった。	
20 演題発表の内容、まさにそのとおりのこと。それらの事をどのように消費者に伝えていくのかをシステムとして考えてほしい。	
22 論文のウソのお話のおかげです。論文が出ると全部OKって思っていたことがわかりました。	
24 少々過激な見解もあるなあと感じた。	
25 科学的根拠の重要性を再認識しました。	
27 こんなレベルの論文が一度は通ってしまうのは驚き。	
28 二セ科学の話が良かったです。	
30 科学とは何なのか? どういうものが正しい情報なのかという事がわかりました。	
33 いつものおとりに精密でわかり易い説明	
34 今迄聞いたセラーニ批判の中で最も切れ味のよいもの。	
35 科学についてとてもわかり易かったです。	
38 科学者の責任と限界が判りました。	
40 今ほとんど輸入のトウモロコシ他が遺伝子組換えなんですね。驚きました。	
6 加工食品	阿紀 雅敏
1 ?	
8 包装資材を提供する立場として、もっと安全に気をつかわねばと感じました。	
16 一般的な話だけで、一歩ふみ込んだ話をききたかった。もの足りなかった。	
19 法令による回収と自主回収の比較があるとよかったです。	
20 演題発表の内容、まさにそのとおりのこと。それらの事をどのように消費者に伝えていくのかをシステムとして考えてほしい。	
24 様々なリスクの可能性がとてもわかり易かった。	
35 企業の対策がよくわかりました。	
38 もう少しお話頂きたかった。	
40 メーカーは全力で食品安全に取り組んでいることがわかりました。	
7 健康食品	山崎 毅
1 ?	
8 良くわかりました。	
12 いわゆる健康食品がどう帰着していくのか、関心をもっています。	
19 わかりやすかった。	
20 演題発表の内容、まさにそのとおりのこと。それらの事をどのように消費者に伝えていくのかをシステムとして考えてほしい。	
24 共感できる論理が多く、聴講が楽しかった。	
25 一部のマスコミの言い分をうのみにしてはいけないと思いました。	
30 食品安全委員会からあのような情報がでてきているのは、おもしろかったです。	
35 今後の方向性について理解しました。	
38 少し理解が進みました。	
40 サプリメントの扱い方がわかりました。今までは売側のいいなりでした。	
41 食安委が出した健康食品のメッセージを事業者はどう捉えるべきか各社混乱していると思う。きちんと紹介して事業者としての考え方「大部分は問題ない」の一つを示していただいたのは大変良かったです。各ハザードのリスクがタバコと比較してどのくらいにあたるかというグラフがあると良かった。	
8 パネル・ディスカッション:『食のリスクの真実を議論する』	パネラー全員
1 五十君先生、長村先生、唐木先生の考え方を含めて明解な御説明は大変参考となりました。	
8 関税と日本の食品の管理基準は別ものだから阿紀先生のおっしゃる通り、検査する方々が忙しくなるけれど、TPPは関係ないですね。	
9 「健康思考、自然、天然」の文言におどらされて、科学的に正しく理解しようとして(むしろ否定的な)消費者が多いように感じます。(年配の女性に多い? → 幼い子供を持つ女性)アレルギーなど個人差のある食品は別として、リスク分散→バランスよく多くの食品を摂取する事が一番なのかと思いました。カタカナ名に怖がることなく正しく理解、使用量を守る。偏見を持たないで情報を取り入れる姿勢が大切に思いました。	
11 QAの時間が短か過ぎる。(前半の時間配分が悪い) ⇒ タイムキーパーの役割が不十分でした。今後のフォーラムでは進行方法を改善します(山崎)	
17 Codexに関する意見交換会やシンポジウムを望みたい。	
19 時間が短くなってしまったのが残念だった。 ⇒ タイムキーパーの役割が不十分でした。今後のフォーラムでは進行方法を改善します(山崎)	
22 皆さんご意見があるのですが、質問に対する答よりも自論を展開されている様な気がしました。	
33 みなさん難しい内容をいかに伝えるかについて苦労されていることが良くわかりました。	
35 とても興味深く聞かせていただきました。	
40 難しい話をわかりやすく説明して下さい。ありがとうございました。	

9	今回のフォーラムについて、率直に思われたことを何でも教えてください。
1	有意義なフォーラムと思いました。もっと大きな会場でより多くの参加者への情報提供となればと思いました。
2	TPPで大きく基準の異なった物品が入ってくるとポジティブリスト制の網目は弱点とならないか？
5	アカデミックで面白い。
6	食のリスク側からだけでなく不安に思っている側の意見も伺いたい。
8	消費者としても冷静に理論的に考え、判断することが重要と思いました。
12	危険を強調する記事のほう売れるというメディアのあり方にも問題があると思いますが、科学的根拠と感覚の納得の問題は難しいです。少なくとも間違いない情報発信が必要と改めて考えました。
14	その道の達人のご意見は大変興味深く聴くことが出来ました。
16	情報提供の話が長すぎる、時間を管理して要点をまとめた話をしてほしい。パネルディスカッションでも進行役がコントロールが悪い、一人の人にだけ話させてしまう。質問に答えてもらうだけならパネルディスカッションでなくても良いのでは？リスク認識のギャップについてのはずだが、消費者と専門家のギャップを埋めることについて先生方があまり考えられていないと感じました。⇒ 申し訳ございません。今後のフォーラムでは進行方法を改善します。ただ、消費者と専門家のギャップをどう埋めるかについては、むしろ参加者全員で議論できればと考え、専門家には専門家としてのリスク認識を語っていただきました。本アンケートのコメント集#11をご確認ください。この課題については、今後のフォーラムでも議論しますのでご期待ください。(山崎)
17	今回は参加者が多く、内容の認知度、関心度が高いことが見られる。テーマの選定を今後も考えて頂きたい。
18	消費者に効果的な情報提供をしていく必要があると改めて思いました。
19	テーマと発表内容がリンクしていないと思われる発表者もあり、全体として伝えたいことがやや不明確だった。よい取り組みと思うが、どれくらいの効果を挙げているのでしょうか。
20	消費者教育の重要性を改めて感じた。
21	このような議論が広く一般消費者に正しく理解されるように伝わっていくことを願って止みません。
22	情報提供の時間がオーバーしている演者が多いのが気になった、パネルディスカッションの時間ももっとあるとよいと思いました。⇒ タイムキーパーの役割が不十分でした。今後のフォーラムでは進行方法を改善します(山崎)
24	このフォーラムを一般向けに易しい内容に変えて講演してほしい。
25	身につまされるテーマで大変勉強になりました。
27	大変ためになりました。
29	非常に良かった。多様なテーマでかつ興味深い。
30	もっと消費者にこういった正しい情報をだして欲しいなと感じました。
32	専門家の最新のお話が大変わかりやすく聞いて勉強になりました。
34	各専門家のトップクラスの有益なお話が有難かった。
35	イメージがかなり先行していると思いました。
37	ハザードに関しては、もう少しテーマを絞った方がよかったと思いました。⇒ 今後のフォーラムでは進行方法を改善します(山崎)
38	大変集約的で参考になる講演でした。(もう少し長い講演時間を配分して頂きたかった) ⇒ 今後のフォーラムでは進行方法を改善します(山崎)
39	各リスクについての課題を理解できて有益であった。
40	自分が勉強不足で、一般的な質問を投げかけさせて頂きました。科学的根拠に基づいて判断していかなければならないことが分かり、商品売ろうとしている人たちのあおりに負けないようにしていきたいと思いました。
10	今後、食の安全と安心の分野で、どのようなテーマのシンポジウムを希望されますか？
5	もっとやさしい次先の話(同じ題材でよいが)
6	流通や消費者の求める安全・安心と世界のギャップがどうあるか。
11	従来育種とGMの分子生物学的比較
16	本日の議題の議論が見たい。今回の議論ではなく、講師の方のお考えを話していただきたくない。
19	その時々々の法令改正や社会的現象について話題提供していただけたらよいのでは。
24	専門記者たちから見ると疑問点など、ざっくりとらんに討論してほしい。
25	今回のような全方位、統括的な視点からのフォーラムを継続して欲しい。
32	ギャップをうめるために今何が必要かをテーマにすればよいと思います。
33	特保と機能性表示食品
34	この様な質の高い会はもっと多くの人にきいてもらいたい。
35	健康素材と言われているものについての科学的分析
40	健康食品の見極め方。今回の勉強でたいは分かりましたが、健康食品会社に行くと、うまくだまされてしまいがち。そうならないように確信をもちたい。
41	TPPを海外でのリスク評価データも踏まえたセミナー
11	消費者と専門家のリスク認知期のギャップをうめるためには、いま何が必要でしょうか。
1	活動家は信念を持った方々で理解を得ることは困難と思います。従って言い方など染まっていない方への積極的な情報提供が大事だと思います。(特に大学、高校、中学など)
6	マスコミ・流通の認知度UP
8	メディアを通しての正しい情報(発信者の情報をメディアが正確に伝えること)
9	食の不安をおおるような報道が多い。マスコミなどが正しい情報を伝える事が大切。
11	消費者のリテラシー向上
14	ネット上のフォーラムが必要。質疑応答。
15	教育か？メディアは危険情報が好き
16	子どもの頃からの正しい教育(家庭内、学校)メディアの教育
17	メディアの関心度を上げる事が必要ではないか。
19	今回は専門家からの一方的な発信だったが、それぞれが意見を伝える場も必要では。コントロールは難しいですが、それでもよいのでは。
20	教育とメディアを使った啓蒙
22	学校教育で正しい情報を教えていけばよいのではないのでしょうか。
24	安全と安心の違いをまず認識させることが第一歩だと思う。
25	SFSSのような団体の活動
29	企業が発信しても信用が低い。行政が力を出してほしい。
30	正しい情報の発信力
32	教育と情報共有が必要だと思います。
35	国からの発信
36	学校教育
37	「健康食品」と「いわゆる健康食品」があるように「いわゆる専門家」も多いと感じます。全ての発信を署名記事にするなどの対策。発信側の責任もあるのでは。
38	コーディネーターが必要(良心的な)メディアの活用はできないのか？行政の信頼度、食安委の認知度を上げる。
40	啓蒙活動
41	食品安全委員会、専門家、メディアからの積極的な情報発信(マスコミやFacebookなどフリーな)が必要。加工肉の安全性についてはWHOの発表後、食安委からのマスコミやFacebookによる情報発信で比較的正しい知識がすぐに伝わった。遺伝子組換え、食添、農薬などについてもきちんと話題にするべき。区役所・保健所など母親が必ずアクセスしなければならない機関への情報発信も増やすべき。